

みえ県議会だより

NO. 195

令和5年
(2023年)
2月1日



菅島灯台（国指定重要文化財・鳥羽市）

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 ☎059(224)2877

FAX 059(229)1931 ✉gikaik@pref.mie.lg.jp

URL <https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/>

URL <http://www.gijiroku.jp/mie/> (スマホ版)

URL <https://www.facebook.com/miepref.gikai> (Facebook) ▲議会ホームページ ▲スマホ版議会だより ▲議会Facebookページ



～令和4年度補正予算などについて議論～

令和4年三重県議会定例会 11月定例会議

観光需要喚起のための旅行割引「おいでよ！みえ旅キャンペーン」を継続して実施するための補正予算などについて議論しました。また、三重県議会議員の政治倫理に関する条例の一部改正を行いました。

本号の主な内容

- 1面 審議結果と主な開催実績、三重県議会定例会 今後の日程(予定)
- 2～3面 一般質問、用語解説
- 4面 令和4年度「みえ現場 de 県議会」を開催、令和4年度第2回三重県議会議員勉強会を開催、三重県議会議員の政治倫理に関する条例を改正、次の一般選挙から三重県議会議員の定数と選挙区が変わります、2022年「あなたが選ぶ！三重県議会の活動ベスト10」発表、自治功労者表彰状ならびに総務大臣感謝状について

審議結果

可決した議員提出議案

- 三重県議会議員の政治倫理に関する条例の一部を改正する条例案
- 三重県議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例案

可決した議案

- 令和4年度三重県一般会計補正予算(第5号) ほか24件

条例

- 三重県個人情報保護の保護に関する法律施行条例案 ほか8件

その他議案

- 当せん金付証券の発売について ほか14件

人事案件(同意)

- 教育委員会委員の選任につき同意を得るについて

認定した一般会計・特別会計決算

- 令和3年度三重県一般会計歳入歳出決算
- 令和3年度三重県債管理特別会計歳入歳出決算
- 令和3年度地方独立行政法人三重県立総合医療センター資金貸付特別会計歳入歳出決算
- 令和3年度三重県国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 令和3年度三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 令和3年度三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計歳入歳出決算
- 令和3年度三重県就農施設等資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 令和3年度三重県地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算
- 令和3年度三重県林業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 令和3年度三重県沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 令和3年度三重県中小企業者等支援資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- 令和3年度三重県港湾整備事業特別会計歳入歳出決算

採択した請願

- 私学助成について
- 知的障害者福祉法の改正及び障害者福祉施設職員の安定的な雇用に向けた必要な支援に係る意見書の提出を求めることについて
- 教育機会確保法に基づいた不登校支援施策の充実を求めることについて

不採択とした請願

- 国に対し、消費税率5%への引き下げを求めることについて
- 国に対し、インボイス制度(適格請求書保存方式)の中止・延期を求めることについて
- 介護保険制度の改善を求めることについて

審議結果と主な開催実績

可決した意見書案

- 私学助成の充実を求める意見書案
- 知的障害者福祉法の改正及び障害者福祉施設職員の安定的な雇用に向けた必要な支援を求める意見書案
- 「きれいで豊かな伊勢湾」の実現に向けた取組の強化を求める意見書案

否決した意見書案

- 杉田水脈総務大臣政務官の罷免を求める意見書案
- ※議案の概要、議員別の賛否等の状況などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

主な開催実績

10月

- 26日 予算決算常任委員会
- 令和5年度当初予算編成に向けての基本的な考え方についての調査

- 27日 予算決算常任委員会
- 決算認定議案の審査 他

- 花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会

- 31日 予算決算常任委員会
- 条例案素案の検討について 他

- 11月

- 1日 予算決算常任委員会3分科会
- 議案の審査、所管事項の調査

- 2日 予算決算常任委員会3分科会
- 議案の審査、所管事項の調査

- 総務地域連携デジタル社会推進常任委員会

- 所管事項の調査

- 14日 予算決算常任委員会
- 決算認定議案の審査、所管事項の調査

- 15日 花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会

- 条例案素案に関する執行部からの意見聴取について 他

12月

- 21日 本会議
- 認定議案12件認定、議提議案1件上程、議案47件上程

- 25日 本会議
- 議提議案1件上程、議案1件上程

- 29日 本会議
- 一般質問(5人)

12月

- 1日 本会議
- 一般質問(4人)

- 5日 本会議
- 一般質問(4人)、議案1件上程

- 花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会

- 6日 執行部意見への対応について 他

- 6日 予算決算常任委員会
- 令和5年度当初予算要求状況についての調査

- 7日 予算決算常任委員会
- 令和5年度当初予算要求状況にかかる総括的質疑

- 8日、9日、12日、13日 各常任委員会・分科会
- 議案の審査、所管事項の調査 他

- 15日 花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会

- 条例案中間案の検討について 他

- 16日 予算決算常任委員会
- 議案の審査、所管事項の調査 他

- 医療保健子ども福祉病院常任委員会

- 20日 本会議(令和4年定例会閉会)
- 議提議案2件可決、議案49件可決、請願3件採択・3件不採択、意見書案4件上程・3件可決・1件否決、人事同意議案1件上程・同意

※この他にも、議会運営委員会、議会改革推進会議、総会・役員会、代表者会議、全員協議会、委員長会議、議案聴取会、広聴広報会議など、さまざまな会議を開催しました。

三重県議会定例会 今後の日程(予定)

2月から3月までの日程(予定) は次のとおりです。

- 2月1日 代表者会議
- 8日 議会運営委員会
- 13日 全員協議会
- 15日 本会議(議案上程)
- 21日 本会議(代表質問・議案質疑)
- 24日 本会議(一般質問)
- 28日 本会議(一般質問)
- 3月2日 本会議(追加議案上程)
- 3日 本会議(一般質問・議案質疑)
- 6日 予算決算常任委員会
- 7日、8日、9日、10日 (予算総括質疑)
- 7日、8日、9日、10日 各常任委員会・分科会
- 15日 予算決算常任委員会
- 16日 代表者会議
- 17日 議会運営委員会
- 17日 本会議(採決・閉会)

※この日程は、令和5年1月5日現在の予定です。最新の情報は、県議会ホームページの「議会の日程」でご覧いただけます。

TV テレビ中継 □ インターネット中継

一般質問

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています。

熊野参詣道伊勢路について

濱井 初男 議員
(新政みえ / 多気郡選出)



問 熊野参詣道伊勢路は、古くより伊勢から熊野に向かつて多くの人々が歩く巡礼道であり、祈りの道と言われているが、伊勢からツラト峠までの伊勢路は世界遺産に登録されています。未登録部分の追加登録によって、伊勢路のブランド力を高め、本質的価値を維持し高めることができるのではないのでしょうか。追加登録に向けた取り組みの進捗状況と今後について、お聞かせください。



熊野古道 (馬越峠道)

答 世界遺産の追加登録に向けては、国史跡の指定が必要であるため、その指定に向けた関係市町の取り組みを支援しています。また、追加登録の提案書は奈良県、和歌山県とともに提出する必要があります。そのため、両県との情報共有や意見交換を行っています。今後も、関係市町・奈良県・和歌山県・文化庁と緊密に連携して取り組んでいきます。

○ひとり親家庭への支援について



▲一般質問 (濱井初男 議員)

神宮式年遷宮に向けての観光振興について

中川 正美 議員
(自由民主党 / 伊勢市選出)



問 神宮式年遷宮は観光振興を進める絶好の機会であり、この機会を逃してはならないと考えます。今後、伊勢市だけでなく県内市町とともに盛り上げていくなど、観光振興にしっかりと取り組んでいただきたいと思えます。令和15年の神宮式年遷宮に向けて徐々に機運が高まっていく中、県はどのように取り組むを進めていくのか、お聞かせください。

答 神宮式年遷宮は本県を全国にPRし、誘客に繋げる大きなチャンスであることから、第63回式年遷宮等を見据え、戦略的な観光誘客の推進と質の高い観光地づくりが必要で、今後、県内市町や関係機関と連携を図りながら、次期式年遷宮に向け、中長期的にプロモーションやコンテンツ・受入環境整備を展開し、国内外からの誘客促進にしっかりと取り組んでいきます。



お木曳

○介護人材の確保 ほか



▲一般質問 (中川正美 議員)

脱炭素社会の実現に向けた取り組みについて

長田 隆尚 議員
(草莽 / 亀山市選出)



問 県の公用車は、2022年3月末で2,221台であり、内161台が電動車(ハイブリッド車等)です。本年度中に改定する「三重県地球温暖化対策総合計画」では、公用車の新規導入・更新時の原則として、電動車化を掲げるようですが、「三重県新エネルギービジョン」の計画期間である2030年度における公用車の電動車化の見通しを伺います。



答 公用車の購入については、本年度から環境物品等の調達方針において原則ハイブリッド車とすることとしており、2030年度には、全体で30%強の公用車が電動車に置き換わると推計しています。今後、公用車の電動車化の状況を年度ごとに取りまとめ、県ホームページ等で公表していきたいと考えています。

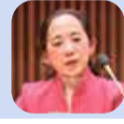
○今後の中小企業に寄り添った支援について



▲一般質問 (長田隆尚 議員)

リニア中央新幹線計画の矛盾と危うさに対する知事の見解を問う

山本 里香 議員
(日本共産党 / 四日市市選出)



問 リニア中央新幹線については、推進を望む方が大勢いる一方で、疑問を持つ方もそれ以上に存在すると思えます。名古屋以東では、トンネル工事による水がれや大深度地下工事による地盤沈下などが問題になっていいます。県内でも、掘削残土の処理による環境破壊や土砂災害の心配などが考えられますが、知事の見解をお聞かせください。

答 県内を通るリニア中央新幹線が、明かり区間になるのか地下区間になるのかは決まっていますが、安全に注意を払いながら工事が行われるものと考えています。また、掘削残土については、今後発生する量や処理方法について、検討していきたいと考えています。



○県立高等学校における一人一台端末の利用の現状について



▲一般質問 (山本里香 議員)

若年層における市販薬等のオーバードーズ(過剰摂取)への対応について

川口 円 議員
(新政みえ / 津市選出)



問 若年層で潜在的に増えている市販薬等のオーバードーズ(過剰摂取)への対策として、子ども達が安心して居場所づくりと、そこで心を開いて相談できる体制づくりが必要と考えます。この問題は、県の各部署にまたがることであり、知事のリーダーシップのもとに取り組んでいただきたいと思えますが、知事の考えをお聞かせください。



答 市販薬等の過剰摂取への対応については、寄り添って悩みを聞くことが重要であると考えています。県では、薬の正しい知識の啓発や販売事業者への指導、こころの相談などに取り組んでおり、今後は、三重県薬物乱用対策推進本部において、県全体で何ができるかを議論していきたいと考えています。

○無園児(未就園児)の保護者への対応について



▲一般質問 (川口 円 議員)

学校部活動の地域移行に向けた取り組みについて

山崎 博 議員
(自由民主党 / 四日市市選出)



問 国で「運動部活動の地域移行に関する検討会議」が行われ、まずは休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことなどが提言されました。しかし、競技団体等からは、具体的な進め方が見えてこない、実情として進んでいないとの声が届いています。地域移行について、これまでの県の取り組みと今後の進め方について、お聞かせください。

答 県では、市町との定期的な意見交換の場を設けて課題等を聞き取り、受け皿となる団体の確保のために、総合型地域スポーツクラブ等へ働きかけを行ってきました。今後も、課題解決に向けて市町と協議を進めるとともに、国の事業を活用して市町を支援し、地域の実情に応じた地域移行が円滑に推進されるよう取り組んでいます。



○多文化共生社会づくり ほか



▲一般質問 (山崎 博 議員)

各種事業へのリモート参加について

森野 真治 議員
(新政みえ / 伊賀市選出)



問 テレワークやウェブ会議など、コロナ禍における新しい生活様式として始まった手法は、さまざまなメリットを生み出し、対面を重視してきた日本社会においても許容されるようになりました。そのような中、県の事業は、リモート対応への意識が低いのではないのでしょうか。今後、県の各種事業はリモート参加できることを標準とするべきと考えますが、いかがですか。



答 県が実施する事業において、多くの県民が参加いただけるようオンラインを活用していくことは、重要と考えています。現在、セミナー等の半数近くはオンラインを活用していますが、県が実施するイベント等は、場所・規模などがさまざまであるため、費用対効果なども勘案しながら、それぞれのケースに応じた対応していきたいと考えています。

○県有施設の温室効果ガス排出量削減について



▲一般質問 (森野真治 議員)

デジタル社会推進のメリットとデメリットについて

石田 成生 議員
(自由民主党)
四日市市選出



問 全国学力・学習状況調査では、スマートフォン等でのSNSや動画視聴が1日3時間以上と答えた小学生の割合が全国平均を上回っています。学習端末が配置され、どこでも学習できる環境が整ったことは望ましい一方、スマートフォン等を長時間使用している児童生徒の多さは憂慮すべきだと考えますが、県はどのような対応をとっているのかお聞かせください。

答 県では、児童生徒が使用時間やルールを設定し、振り返ることができるチェックシートの利用の促進や、健康面に留意した使用を啓発するリーフレットの提供を行っています。今後も、市町教育委員会やPTAと意見交換を重ね、児童生徒がスマートフォン等の適切な使い方を身につけていけるよう取り組んでいきたいと考えています。



その他の質問事項
○カーボンニュートラルの進捗管理について

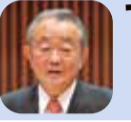
○保育園送迎バス等の子どもの置き去り防止について
ほかに



▲一般質問 (石田成生 議員)

新型コロナウイルス感染症対策について

舟橋 裕幸 議員
(新政みえ)
津市選出



問 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が拡大した場合、外来診療能力が不足するとの想定も示されていますが、県の対応をお聞かせください。

答 また、令和6年度から始まる第8次医療計画の策定に向け、ウィズコロナ、アフターコロナにおける地域医療構想をどのように見直すのか、県の考えをお聞かせください。



問 医療機関への協力依頼や自己検査体制の拡充等外来医療の逼迫を防止するための対策により、同時流行のピーク時にも適切に受診できる体制が確保できる見込みです。また、コロナ禍における医療提供体制の在り方が課題となったため、各医療機関が担うべき役割や機能を引き続き協議し、持続可能な医療提供体制の構築を進めます。

その他の質問事項
○令和5年度組織改正について

○防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策について
ほかに



▲一般質問 (舟橋裕幸 議員)

2025年大阪・関西万博に向けた取り組みについて

木津 直樹 議員
(自由民主党)
伊賀市選出



問 大阪・関西万博は、2820万人(内インバウンド350万人)の来場が想定され、その経済効果は約2兆円と見込まれます。この万博を県の経済回復の起爆剤として位置づけ、これまで取り組んできた関西圏営業戦略の集大成として成果を発揮してください。また、万博の三重県ブースには、ぜひ松尾芭蕉を加えてください。知事の万博にかける意気込みを伺います。

答 来年のG7交通大臣会合や、2025年の大阪・関西万博、2027年のリニア中央新幹線東京・名古屋間の開通など、三重県にとって好機が続きます。この機に三重の魅力を発信し、多くの方に来県いただき、三重の経済成長を期するため、県内市町や関係団体、事業者の皆さんとしっかり連携して取り組んでいきます。



その他の質問事項
○空き家対策の推進について

○地域公共交通の活性化と再生について
ほかに



▲一般質問 (木津直樹 議員)

幹線道路網の整備について

三谷 哲央 議員
(新政みえ)
桑名市・桑名郡選出



問 桑名市多度地域への企業立地は、桑名市の財政を支えるものであり、桑名地区全体の産業、経済の基盤になると考えられますが、工業団地へのアクセスが最大の問題となつていきます。工業団地へのアクセス道路であり地元の高い、県道御衣野下野代線と県道四日市多度線について、道路改良の現状と今後の見通しをお聞かせください。

答 両路線ともに、幅員が狭い箇所等があり大型車のすれ違いに支障をきたしていることから、これらを解消し工業団地へのアクセス性の向上を図るために道路改良事業に着手しており、現在は用地測量と用地取得を進めています。今後も、引き続き桑名市や地元関係者の協力を得ながら、早期に用地取得が完了するよう取り組みます。



県道四日市多度線

その他の質問事項
○一見県政における人口減少対策とは?

○木曾岬干拓地の土地利用について
ほかに



▲一般質問 (三谷哲央 議員)

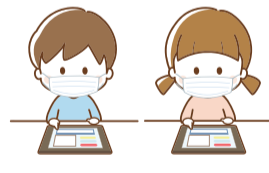
みえスタディ・チェックのCBTと一層の学力定着について

小林 貴虎 議員
(自由民主党)
津市選出



問 県は令和4年1月から、独自にCBT化したシステムで「みえスタディ・チェック」を実施していますが、CBT化によって、子どもたちの学力定着と教員の事務量削減にどのような効果があったのでしょうか。国が提供する同様のシステム「MEXCBT」への移行についての方針と併せて、県の考えをお聞かせください。

答 CBT化によって採点・集計や課題に対応した問題の準備等が自動化され、課題のある児童生徒への指導や、より分かりやすい授業の工夫・改善に注力できるようになりました。現行のMEXCBTには県のシステムが有する機能が一部備わっていないため、今後の機能追加の状況を確認しながら、移行を検討します。



その他の質問事項
○伊勢湾再生に向けた県土整備部による取り組みについて

○津駅周辺道路空間の整備について
ほかに



▲一般質問 (小林貴虎 議員)

用語解説

1 明かり区間

鉄道が走行する区間のうち、トンネル以外の区間のことです。

2 総合型地域スポーツクラブ

身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多目的)、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・(多志向)、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブです。

3 CBT

Computer Based Testingの略で、問題をタブレット等の学習端末に表示して、児童生徒が画面上で解答する調査方法のことです。

4 みえスタディ・チェック

学習内容の定着状況を把握し、各学校における個に応じた指導、授業改善を促進するために、平成26年度から三重県が独自に実施している学力向上策の一つです。

5 MEXCBT (メックビット)

児童生徒が学校や家庭において、国や地方自治体等の公的機関等が作成した問題を活用し、オンライン上で学習やアクセスメントができる「文部科学省CBTシステム」のことです。文部科学省が開発・展開を進めており、希望する全国の小・中・高等学校等で利用することができま

三重県議会の本会議等で用いられる議会運営用語の解説については、県議会ホームページの「用語解説」からご覧いただけます。



用語解説

「みえ現場 de 県議会」を開催

11月17日、令和4年度「みえ現場 de 県議会」を、グリーンプラザおおだいを会場に開催しました。
「みえ現場 de 県議会」は、県民の皆さんの多様な意見を県議会での議論に反映することを目的に、平成22年度から実施しています。

今回は、「人口減少対策」移住による地域おこし」をテーマに、移住政策や地域おこし等の活動を通じて地域を盛り上げている方々と意見交換を行いました。

参加者からは、「県の北部に住んでいる若者と南部にある自然や会社をつなぐような事業を応援してほしい」、「移住した理由で、住宅がすぐ見つかったことを挙げる方は多く、活用可能な空き家を即座に提供できる仕組みが必要」、「昇学園高等学校では県外の高校生からの問い合わせも多くあり、住宅など学生が安心して学べる環境づくりへの支援があるとうれしい」など、さまざまな意見が出されました。



意見交換の様子

令和4年度第2回三重県議会議員勉強会を開催

11月21日、法政大学の廣瀬克哉総長を講師にお招きし、第2回議員勉強会を開催しました。

今年度は県立大学をテーマに勉強会を実施しており、第1回勉強会「若者の県内定着に向けた大学の在り方」に引き続き、第2回勉強会では「地方創生と大学における人材育成」と題して、全国から多様な学生が集まり交流する場として、フィールドワークを通じ世界のどこでも生き抜く力を育てる法政大学の取組や、学生や保護者から見た大学選択や就職先の傾向についてお話をいただきました。

また、地方創生の観点から見る公立大学の課題や、近年の公立大学の新しい傾向についてもお話をいただき、今後の三重県における大学の在り方について考える機会となりました。



第2回議員勉強会の様子

三重県議会議員の政治倫理に関する条例を改正

令和3年6月に議会改革推進会議の下に設置された「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」の検討結果を踏まえて規定の整備を行うため、昨年12月に「三重県議会議員の政治倫理に関する条例」を一部改正しました。

この条例は、12月20日の公布の日から施行されています。

主な改正内容

- ・政治倫理規程として、新たに「人権侵害行為」に関する規定を追加
- ・三重県議会議員政治倫理審査会による勧告について、新たに「全員協議会における陳謝」及び「出席若しくは参加の自粛」を規定
- ・現行条例では、「原則として非公開」と規定されていた政治倫理審査会を「公開」とする

※詳しい内容は、県議会ホームページをご覧ください。



次の一般選挙から三重県議会議員の定数と選挙区が変わります

令和3年5月、地域間の均衡を考慮しつつ、県内の各選挙区間における一票の格差の是正等を図るため、「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例」を一部改正しました。

この改正は、次回の一般選挙から施行されますので、令和5年4月に予定されている第20回統一地方選挙から適用される見込みです。

改正内容

・定数を51人から48人とする

伊勢市選挙区(定数4人)
鳥羽市選挙区(定数1人) → 伊勢市・鳥羽市選挙区(定数4人)

尾鷲市・北牟婁郡選挙区(定数2人)
熊野市・南牟婁郡選挙区(定数2人) → 東紀州選挙区(定数3人)

伊賀市選挙区(定数3人) → 伊賀市選挙区(定数2人)

2022年「あなたが選ぶ!三重県議会の活動ベスト10」発表

三重県議会では、議会活動について広く関心を持っていただけるよう、昨年末、県民の皆さんや県議会議員からの投票により、2022年の「三重県議会の活動ベスト10」の選定を行いました。今回選定された取り組みをご紹介します。(各項目の詳細は、県議会ホームページをご覧ください。)

開かれた議会運営の実現

- 「楽しい伊勢茶体験会」を開催《議事堂エントランスホールで伊勢茶振興》
- 議場内で雅楽の演奏会を実施《コロナ禍で失われた発表の場として》
- 第4回「みえ高校生県議会」を開催《8校26名の高校生が参加》

住民本位の政策決定と政策監視・評価の推進

- 「強じんな美し国」ビジョン「みえ」および「みえ元気プラン」の最終案に関し申し入れ《正副議長、全常任委員長から知事へ》

独自の政策提言と政策立案の強化

- 「スマート議会の在り方検討プロジェクト会議」で検討を継続
- 「三重県議会議員の政治倫理に関する検討プロジェクト会議」で検討を継続《条例の改正と逐条解説の作成を検討》

- ※なお、12月20日に三重県議会議員の政治倫理に関する条例の一部を改正する条例が可決・成立しました。
- ロシアによるウクライナ侵攻に厳重に抗議する決議を全会一致で可決
- 議員提出条例として「差別を解消し、人権が尊重される三重をつくる条例」を可決《不当な差別等の禁止を明記し、その解消のための体制や施策を規定》
- オンラインを活用した会議の試行を開始《オンライン会議のノウハウの蓄積に向けて》

その他

- 議員のSNS上での書き込みに関する正副議長声明を発表《議員一人一人の更なる意識高揚に向けて》



楽しい伊勢茶体験会

自治功労者表彰状ならびに総務大臣感謝状について

11月21日、議場において、長年にわたる県政への功労に対する全国都道府県議会議長会からの自治功労者表彰状ならびに総務大臣感謝状が議長から伝達されました。

(自治功労者表彰状)

在職40年以上	中川 正美 議員	西場 信行 議員
在職35年以上	山本 教和 議員	
在職20年以上	前野 和美 議員	中森 博文 議員
	青木 謙順 議員	中嶋 年規 議員
在職15年以上	服部 富男 議員	奥野 英介 議員
	杉本 熊野 議員	藤田 宜三 議員
	村林 聡 議員	津村 衛 議員
		小林 正人 議員
		舘 直人 議員

(総務大臣感謝状)

在職35年以上	山本 教和 議員
---------	----------